

↓扉の吊込動画はコチラ



施工手順書⑦-1

カエサル(CAESAR)

スイング戸、両スイング戸、
サイドガラスユニット

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1.ステルス枠・標準仕様 / ①-2.ステルス枠・準耐火仕様

②クロス・塗り壁工事
(ステルス枠・インセット枠共通)

①-3.インセット枠仕様

③扉・金物の取付
(ステルス枠・インセット枠共通)

③-1. 片開き戸、親子戸

③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)

③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、連続開き戸

④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸

⑥ヴェトロ・ミラノ

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイング戸、両スイング戸、サイドガラスユニット

⑦-2. アウトセット片引き戸(上吊)

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイング戸 ⑨-2. 片引き戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)、引分け戸

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



注意

● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

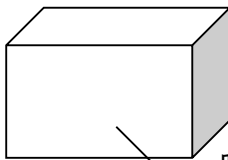
- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

カエサル

施工手順書2023/8更新

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具			同梱品				
部材	数量	備考					
開き戸	1枚						
○ ○							

建具金物箱			同	ハンドル(GC・GD)		ステンレルプレート	ゴムパッキン		
部材	数量	備考		1セット		4ヶ	5ヶ(予備1ヶ)		
金物箱	10セットに付1箱			2ヶ		2本	2本		
 邸別段ボール箱				スプリングワッシャー	ビス(M6×80)	ゴム製リング	ビス(M6×50)		
				2ヶ	2本	※使用しません	※使用しません	2ヶ	2本
				下部フロアヒンジ受け		フロアヒンジ取付けビス	アンカーセット及び六角レンチ		
				面付タイプ 1セット	※フロアヒンジは面付タイプです。床へ埋め込まないでください	4本	1セット		
				上部フロアヒンジ受け	扉側上部ヒンジ	上部ヒンジ取付けビス(半ネジ)	扉側下部ヒンジ		
				1ヶ	1ヶ	8本(M5×25)	1ヶ		
				下部ヒンジ取付けビス(全ネジ)	扉側下部ヒンジカバー	扉側上部ヒンジカバー	ヒンジカバー取付けビス		
				13本(M4.5×25)	1ヶ	1ヶ	1セット		
				施工手順書		六角レンチ(M3)	六角レンチ(M4)		
						下部フロアヒンジ受け用	扉側上部ヒンジ用		
		1ヶ	1ヶ						
※左表の数量はスイング戸の場合を示す。 両スイング戸の場合は×2となります。			品						

カエサル

施工手順書2023/8更新

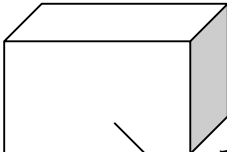
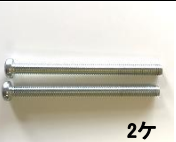
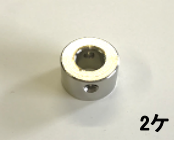
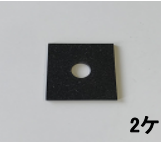
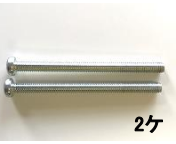
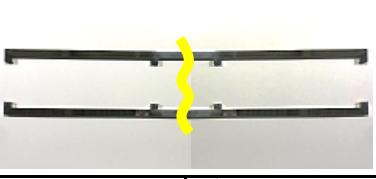
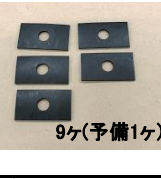
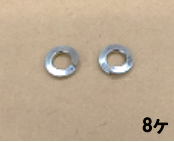
● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

下地枠			同	ダンドリビス				
				※標準耐火納まりの場合 コーススレットビス				
部材	数量	備考	梱		H24	28本		
縦枠下地	2本				1セット	H27	32本	
			品	施工手順書				
								

カエサル

施工手順書2023/1更新

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

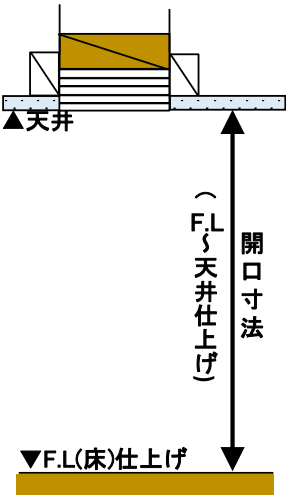
建具金物箱			下部フロアヒンジ受け			
部材	数量	備考	※フロアヒンジは面付タイプです。床へ埋め込まないでください		フロアヒンジ取付けビス	アンカーセット及び六角レンチ
金物箱	10セットに付1箱				4本	1セット
 邸別段ボール箱			面付タイプ 1セット			
			上部フロアヒンジ受け	扉側上部ヒンジ	扉側下部ヒンジ	ヒンジ取付けビス
			1ヶ	1ヶ	13本(M4.5×25)	13本(M4.5×25)
			扉側ヒンジカバー 上部 下部	ヒンジカバー取付けビス	六角レンチ(M3・M4)	施工手順書
			1ヶずつ	1セット	下部フロアヒンジ受け用	扉側上部ヒンジ用
GF・GG ハンドル 同梱品	ハンドル(GF・GG)		コロ		ゴムパッキン	
						
	スプリングワッシャー		ビス(M6×80)		横ビス(M3.8×5.5)	
						
GE ハンドル 同梱品	ハンドル(GE)		コロ		ゴムパッキン	
						
	スプリングワッシャー		ビス(M6×80)		横ビス(M3.8×5.5)	
						
GH・GK ハンドル 同梱品	ハンドル(GH・GK)		ステンレルプレート		ゴムパッキン	
						
	スプリングワッシャー		ビス(M6×80)		ゴム製リング	
						

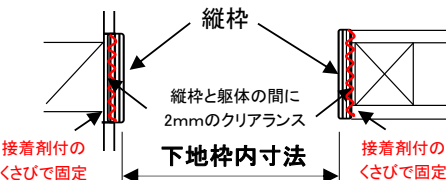
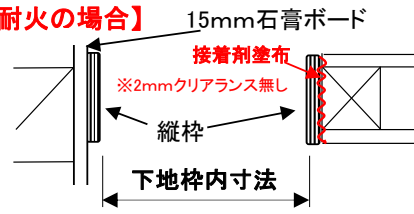
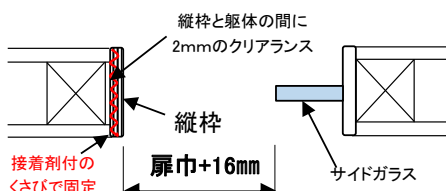
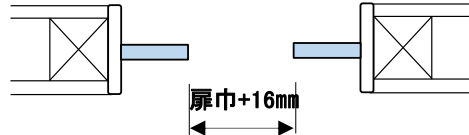
□スイング戸

【カエサル専用】

カエサル

施工手順書2023/1更新

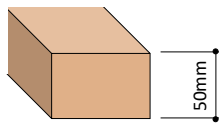
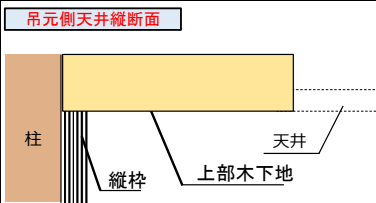
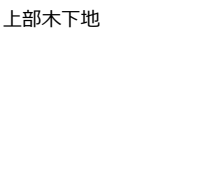
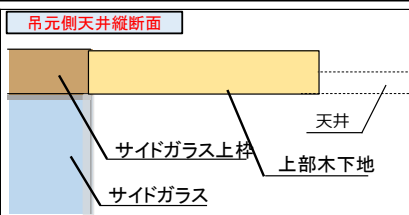
1 開口寸法の確認		
① 縦・横の開口寸法を確認してください。 ※縦の開口寸法（FL～天井）は+2mmを超えてしまうと、不具合（ガタツキや異音）の原因となるため、開口寸法を守って施工してください。 ※床は沈み込みが無いように施工してください。ガタツキの原因となります。		
	縦方向の開口確認 ※+2mmを超えると不具合（ガタツキや異音）の原因となります	横方向の開口確認
注意	※縦方向の開口は指定の寸法から+2mmを超えるとガタツキや異音発生の原因となる為、開口寸法を守って施工してください。	

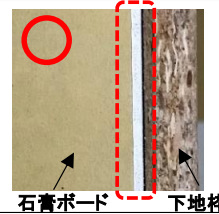
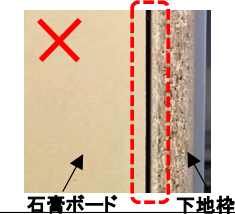
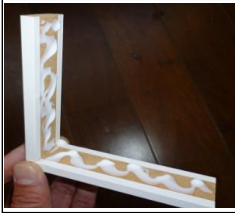
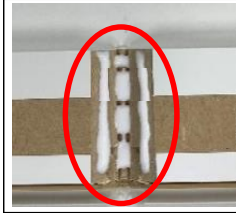
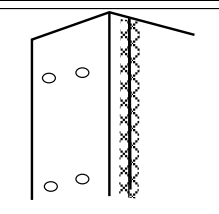
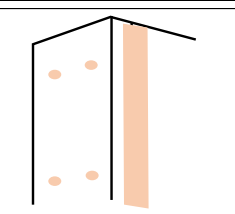
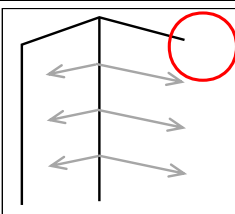
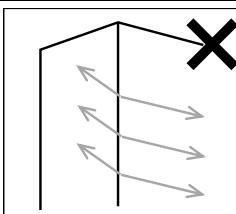
2 縦枠の取付け		
【サイドガラス無しの場合】 開口寸法を確認して柱に縦枠をダンドリビスで取付けてください。 2mmクリアランスには接着剤付のくさびを入れて枠が動かないように固定してください。	 縦枠を取付け後、開口寸法の確認 柱と縦枠の間には2mmのクリアランスを設ける	【準耐火の場合】  壁平面に取付けの場合、 15mm石膏ボードの上から縦枠を取付ける
【サイドガラス有りの場合】 サイドガラスが入る側には縦枠は取付きません。 サイドガラスからの開口寸法をご確認ください。 ※サイドガラスの施工方法は本手順書のp12～をご覧ください。	 【片側サイドガラスの場合】 サイドガラスの無い方に縦枠を取付けてる 躯体と縦枠の間には2mmのクリアランスを設ける	 【両側サイドガラスの場合】 縦枠の取付け無し サイドガラス間の寸法を確認する
注意	※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。 ※標準納まりの場合、躯体と縦枠の間には2mmのクリアランスを設けてください。準耐火納まりの場合は2mmのクリアランスは必要ありません。 ※サイドガラスの施工手順に関しては本施工手順書のp12～をご覧ください。	

□ スイング戸 【カエサル専用】

カエサル

施工手順書2023/1更新

3 上部木下地の取付け			
① 【サイドガラス無しの場合】 吊元側天井に上部ヒンジ受けを取付けるため、厚み50mmの上部木下地を取付けてください。 この時、上部木下地は天井高さに合わせてください。			
	上部木下地を用意する (厚み50mm)	上部木下地の下端を天井面に合わせて取付ける	
② 【吊元側サイドガラス付きの場合】 吊元側天井側に上部ヒンジ受けを取付ける為、厚み50mmの上部木下地を取付けてください。 取付位置はサイドガラスの上枠面から取付けてください。			
	上部木下地を用意する (厚み50mm)	サイドガラス上枠から上部ヒンジ受けを取付ける位置に合わせて上部木下地を取付ける	
※上部木下地は必ず厚み50mm以上にしてください。			
注意			

4 石膏ボード・巾木・クロス施工				
① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。 (接着剤は酢ビ系をお勧めします) ※縦枠に突き付ける石膏ボードは面を取り枠との間に隙間が出ないように取付けてください。				
	石膏ボードを面取して枠との隙間を無くす	枠と石膏ボードの隙間が空いてしまっている	接着剤全面塗布	Vカット部分も接着剤を塗布する
② 縦枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。 下地処理が完了した後でクロスを貼ってください。 金物加工部をまたいでクロスを貼ってください。				
	ジョイント部をまたいでメッシュテープを貼る	ヒズバ、メッシュテープ部、及び縦枠の木口面全体にパテを塗る(下塗り、上)	枠に巻き込む際、クロスは上下左右余裕をもったサイズでまっすぐ貼る	クロスを過度な力で斜めに引っ張りながら貼るとクロスよれの原因となる
注意	※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(クロス仕様の場合：高さ30mm×深さ7mm)。 ※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな質無いうようにしてください。			

□スイング戸 【カエサル専用】

カエサル

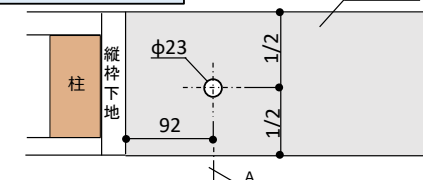
施工手順書2023/1更新

5 上部木下地の加工

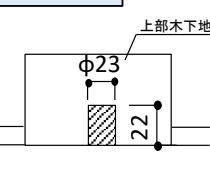
① 【サイドガラス無しの場合】

上部木下地に上部フロアヒンジ受けを取付ける為、φ23 深さ22mmの穴加工をしてください。

吊元側天井見上げ図



A-A断面図



吊元側天井見上げ写真



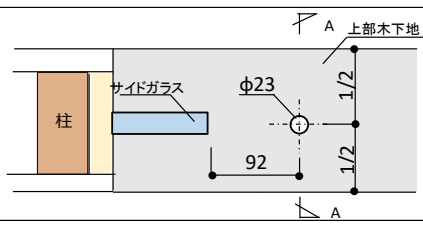
穴加工位置

穴加工断面寸法
φ23 深さ22mm

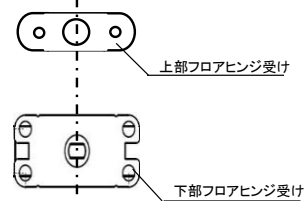
穴加工部見上げ写真

【吊元サイドガラス付きの場合】

上部木下地に上部フロアヒンジ受けを取付ける為、サイドガラスの端部から92mmの位置に加工（φ23 深さ22mm）をしてください。



注意



【吊元側サイドガラスの場合】
サイドガラス端部から92mmの位置に穴加工

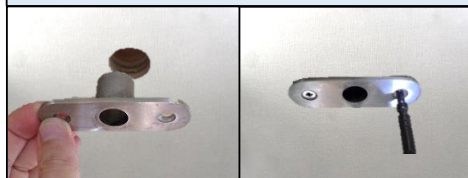
上部フロアヒンジ受けのセンターは下部フロアヒンジ受けのセンターとずれないように取り付ける

注意

6 上部フロアヒンジ受け（上枠側）の取付け

① 上部木下地の穴加工部に、上部フロアヒンジ受けを同梱ビス（M5×25 半ネジ）で取付けてください。

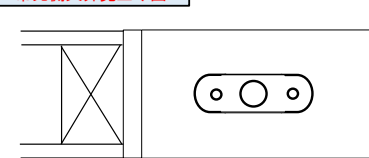
上部フロアヒンジ受け取付け写真



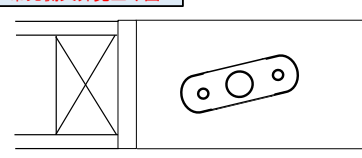
穴加工部に上部フロアヒンジ受けを
同梱ビス（M5×25 半ネジ）で取付け

金物は扉開口に対して平行になるように取付けてください。

吊元側天井見上げ図



吊元側天井見上げ図



注意

※上部フロアヒンジ受けをビス止めする時は、扉開口に対して平行になるように取付けてください。

□スイング戸

【カエサル専用】

カエサル

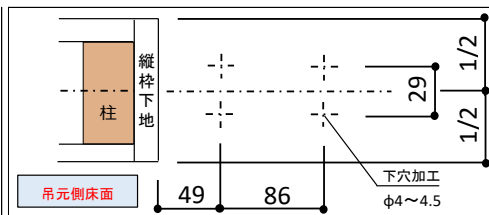
施工手順書2023/1更新

7 下部フロアヒンジ受けの取付け（面付）

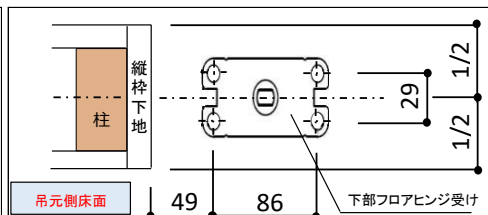
① 【サイドガラス無しの場合】

吊元側床面に下部フロアヒンジ受けの取付け用下穴加工（φ4～4.5）をしてください。
下部フロアヒンジ受けを下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止めてください。

※フロアヒンジは面付タイプです。埋め込まないでください。



吊元側の床面（上図寸法位置）に下部フロアヒンジ受け用の下穴加工（φ4～4.5）をする（4箇所）

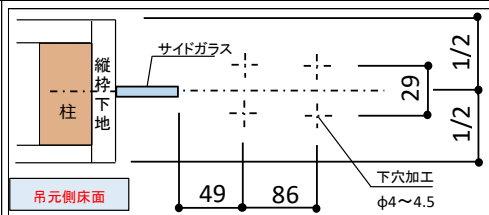


下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止める

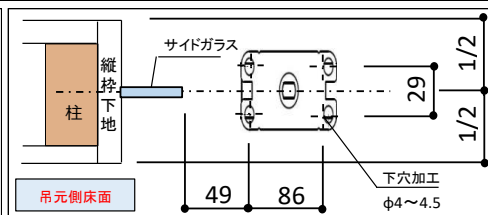
② 【吊元側サイドガラス付きの場合】

サイドガラス端部から49mmの位置に吊元側床面に下部フロアヒンジ受けの取付け用下穴加工（φ4～4.5）を開けてください。
下部フロアヒンジ受けを下穴加工位置に合わせて同梱のビス（M6×35）4本で止めてください。

※フロアヒンジは面付タイプです。埋め込まないでください。



【サイドガラスの場合】
サイドガラス端部から49mmの位置に下穴を開ける



下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止める

注意

※床は沈み込み等無いよう施工してください。扉のガタツキや異音の原因となります。
※フロアヒンジは面付タイプです。埋め込まないでください。
※下穴加工は寸法通りあけてください。下穴加工位置がずれると下部フロアヒンジ受けが斜めに取付いてしまいます。

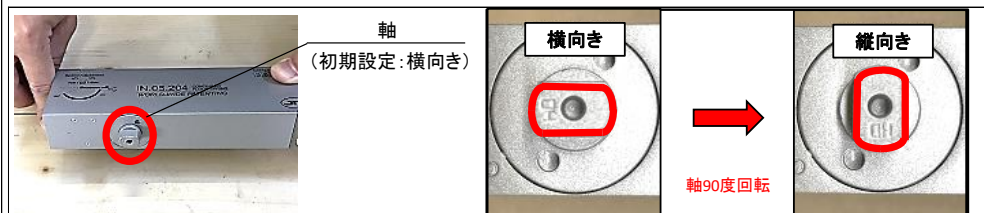
8 扉側下部フロアヒンジ軸の回転

① 建具金物箱から扉側の下部ヒンジを取り出し、下部フロアヒンジ受けに軸を入れてください。
下部ヒンジを持ってA面側に90度回転させてください。



下部フロアヒンジ受けに軸を入れ、下部ヒンジを持って軸をA面側に90度回転させる。

② 扉側の下部ヒンジの軸が90度回転していることを確認してください。



軸が写真のように縦向きになっていることを確認

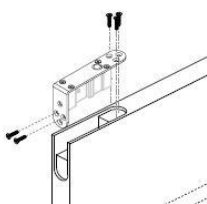
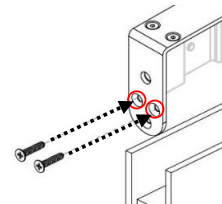
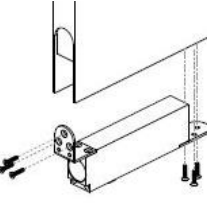
注意

※必ず扉側の下部フロアヒンジの軸を90度回転させ、軸を縦向きにしてください。軸を回転しないと扉を吊り込めません。

□スイング戸 【カエサル専用】

カエサル

施工手順書2023/1更新

9 扉側ヒンジ金物の取付け			
① 扉上端の加工部に扉側上部ヒンジを同梱ビス（M5×25 半ネジ）5本で取付けてください。			
	扉上端の加工部に扉側上部ヒンジを取付ける	※平行に空いている穴にビスを取付ける	
② 扉下端の加工部に扉側下部ヒンジを同梱ビス（M4.5×25 全ネジ）6本で取付けてください。			
	扉下端の加工部に扉側下部ヒンジを取付ける		
注意	※必ず扉側の下部フロアヒンジの軸を90度回転させ、軸を縦向きにしてください。軸を回転しないと扉を吊り込めません。		

10 扉の吊り込み			
① 扉をA面側に90度開いた状態で下部フロアヒンジ受けに扉側の下部ヒンジの軸を入れてください。			
	扉をA面側に90度開いた状態で、下部フロアヒンジ受けに扉側の下部ヒンジの軸を入れる		
② 扉を90度開いた状態で、上部フロアヒンジ受けの軸受けと、扉側の上部ヒンジの軸芯を合わせてください。 扉側の上部ヒンジの小口面の調整ネジを六角レンチで回し、軸芯を全て出して軸受けに入れてください。			
	軸受けと軸芯を合わせ、調整ネジを回して軸芯を軸受けに入れる		
注意	※軸芯は必ず全て出して、軸受けに入れてください。 ※扉側の下部ヒンジの軸が入らない場合は、本手順書「4 扉側下部フロアヒンジ軸の回転」を行ってください。 ※本手順の7-①で軸を回転させた同じ向きから扉を吊り込んでください。異なる向きから扉を吊り込むと扉が開く方向に動きます。		

□スイング戸

【カエサル専用】

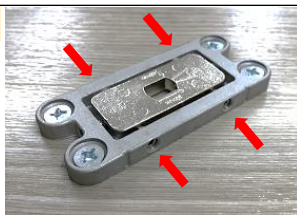
カエサル

施工手順書2023/1更新

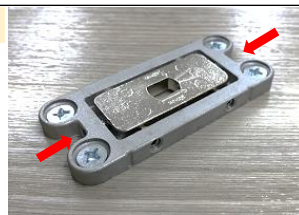
11 扉の閉鎖位置調整 及び 開口との隙間調整

- ① 先ず、下部フロアヒンジ受けの6箇所全ての調整ネジを六角レンチで緩めてください。
- 扉の閉鎖位置が正常な位置となるように調整してください。
- また、開口との隙間が正常な位置となるように調整してください。

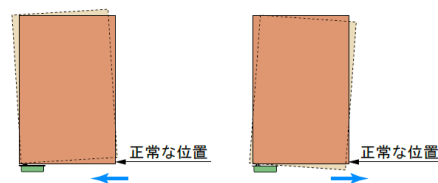
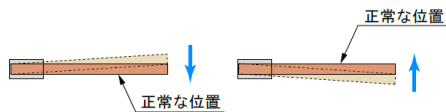
扉の閉鎖位置調整



開口との隙間調整



6箇所の調整ネジ（赤矢印部）を六角レンチ(M3)で
「扉の閉鎖位置」と「開口との隙間」を調整



【閉鎖位置の調整】

上記写真の4本の調整ネジを六角レンチで調整

【開口との隙間調整】

上記写真の2本の調整ネジを六角レンチで調整

注意

※調整をする時は一度6箇所の調整ネジを全て緩めてから調整をしてください。
※調整は、必ず6本全ての調整ネジを締め込んでください。締め忘れると使用中に位置がズレてしまいます。

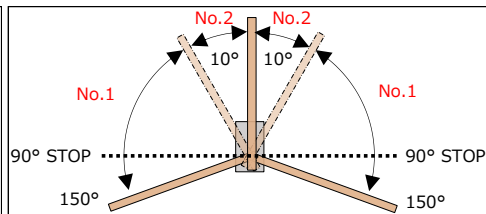
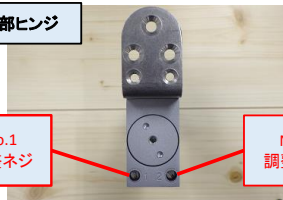
12 開閉速度の調整

- ① 扉側の下部ヒンジにある速度調整ネジを回して開閉速度の調整をしてください。

【調整範囲】

- ・ No.1
開閉角度 10°～150°
- ・ No.2
開閉角度 0°～10°

扉側下部ヒンジ



扉側の下部ヒンジにある開閉速度調整ネジ（No.1及びNo.2）を
マイナスの手動ドライバーで回して開閉速度を調整

注意

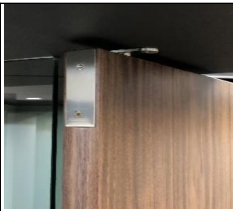
※No.1とNo.2の開閉速度の差を極端に変化させないでください。
※No.1とNo.2それぞれの開閉速度調整ネジを締め過ぎないでください。締め過ぎると扉が動かなくなります。
※No.1とNo.2の開閉速度調整ネジを必要以上に回転操作すると、閉扉動作に支障をきたしたり、油が漏れ出るおそれがあります。

□スイング戸 【カエサル専用】

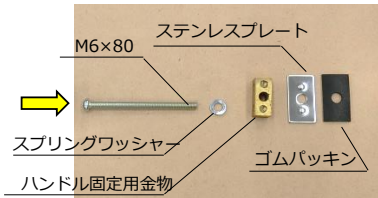
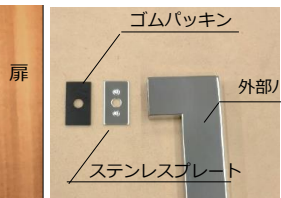
カエサル

施工手順書2023/1更新

13 フロアヒンジの各カバーの取付け

① 【扉側ヒンジのカバー取付け】 上側 カバーをビス（M5×25 半ネジ）で取付けてください。 ※ビスは扉側上部ヒンジで使用したビスと同じものです。 下側 カバーを同梱ビス2本で取付けてください。		上側カバー 		下側カバー 
【下部フロアヒンジ受けのカバー取付け】 下部フロアヒンジ受けに、戸先側と戸尻側からカバーを嵌め込んでください。	 下部フロアヒンジ受けのカバー取付け			
注意	※扉側のカバーをビス止めする時は、手動ドライバーで取付けてください。締め過ぎると、カバーが変形する恐れがあります。			

13-1 ハンドルの取付け（標準GC/GD/GH/GKタイプ）

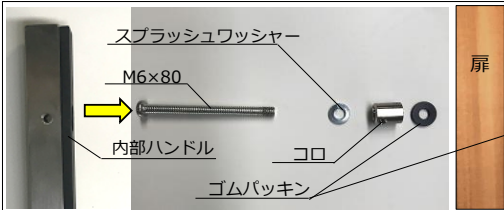
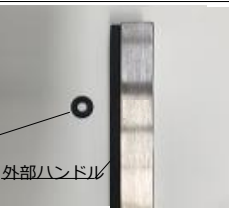
①	【標準・GHハンドルの場合】 内部ハンドルのハンドル固定用金物を取り外してください。				
		内部ハンドルのハンドル固定用金物を取り外す			
②	各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M6×80のビスで締め込んでください。 最後に、ハンドル固定用金物に内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。				
		上記の通りに扉を挟み込んで取付ける			外部ハンドルを取付け
注意	※同梱のビス（M6×50）、ゴム製リングは使用しません。				

□スイング戸 【カエサル専用】

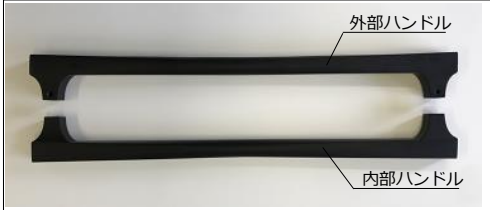
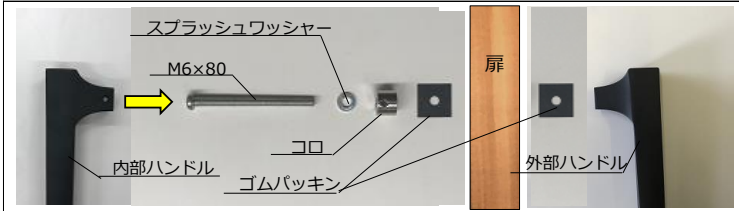
カエサル

施工手順書2023/1更新

13-2 ハンドルの取付け（GG/GFタイプ）

①	【GF・GGの場合】 内部ハンドルと外部ハンドルを確認します。			
		内部ハンドルと外部ハンドルを確認する	【内部ハンドル】 横ビスの穴あり	【外部ハンドル】 ビス穴無し
②	各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M6×80のビスで締め込んでください。 最後に、ハンドル固定用金物に内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。			
		上記の通りに扉を挟み込んで取付ける	内部ハンドルを 横ビスで取付ける	
注意	※ハンドルは手動ドライバーで取付けてください。			

13-3 ハンドルの取付け（GEタイプ）

① 【GEの場合】 内部ハンドルと外部ハンドルを確認します。			
	内部ハンドルと外部ハンドルを確認する	【内部ハンドル】 横ビスの穴あり	【外部ハンドル】 ビス穴無し
② 各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M6×80のビスで締め込んでください。 最後に、ハンドル固定用金物に内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。			
	上記の通りに扉を挟み込んで取付ける	内部ハンドルを 横ビスで取付ける	
注意	※ハンドルは手動ドライバーで取付けてください。		

□スイング戸 【カエサル専用】

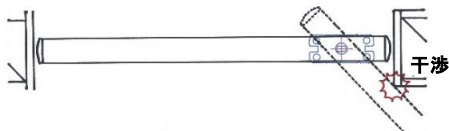
カエサル

施工手順書2023/1更新

14 床付け戸当たりの取付け（オプション）

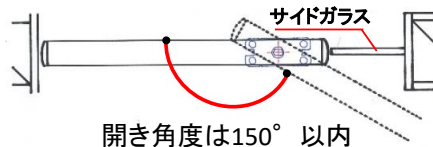
床付け戸当りを取付ける場合は、扉の中央より戸先側に当たるように床に取付けてください。
吊元側に取り付けると床付け戸当りに悪影響を与える恐れがあります。

【壁納まりの場合】



巾木や壁と扉が干渉する場合は戸当りを取付ける
150度以上開かない様に戸当りを取付ける

【サイドガラスユニットの場合】



150度以上開かない様に戸当りを取付ける

注意

※戸当りは戸先側に当たるように取付けてください。戸尻側に取り付けると戸当りが破損する恐れがあります。
※150度以上開かないように戸当りを取付けてください。150度以上開けるとヒンジ金物が破損する恐れがあります。
※オプションの床付け戸当たりを取付ける場合は、扉を勢いよく開けないよう注意してください。
勢いよく開けると、床付け戸当たり及びヒンジ等の破損の原因となります。

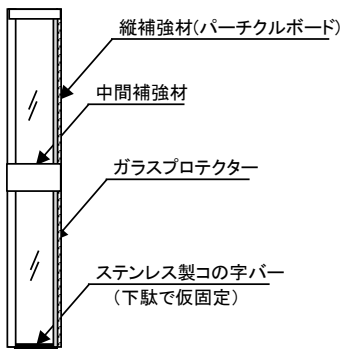
注意

□カエサルサイドガラス

サイドガラスユニット
施工手順書2022/1作成

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

造作材			施工手順書			
部材	数量	備考	同梱部 品			
サイドガラス	1セット	ガラスは組込み済み ※ガラス下部のステンレス製コの字バーは接着剤で固定済み				
						

- ※1 ガラスは強化ガラスを使用しています。
- ※2 ガラスの交換はできません。
- ※3 納品時は袖ガラス下部にはコの字バーがLVLで仮固定されています。
- ※4 施工中はガラスを傷つけないように養生をしてください
- ※5 ガラスプロテクターは、お引き渡し後も取付けたままお使いいただくことを推奨いたします。

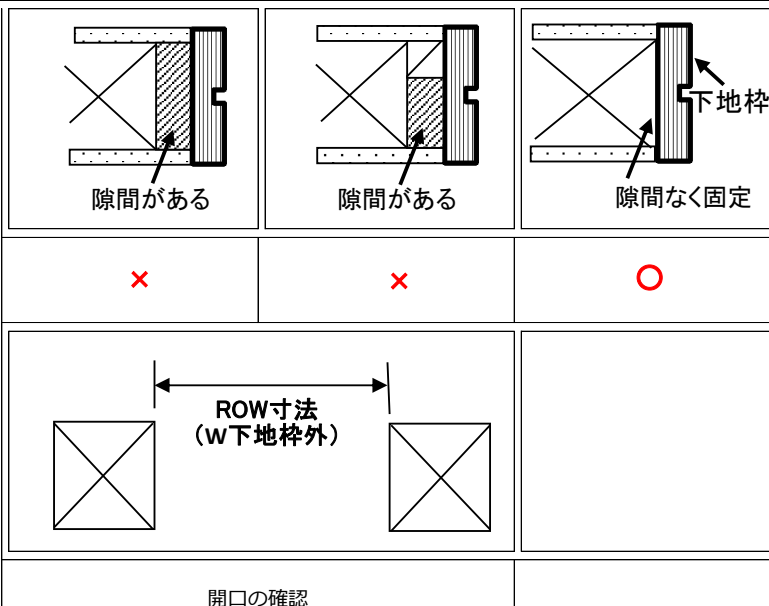
カエサルサイドガラス

サイドガラスユニット

施工手順書2022/1作成

1 施工前の確認事項

- ① サイドガラスを設置する前に、開口部の巾(図面:ROW寸法)と、高さ(図面:床仕上～開口高さ)、及び床仕上げの厚みを確認してください。
- ※サイドガラスの設置は、**ガラス下部のコの字バーが床仕上げ面より下に納まりますので床仕上げ材(フローリング)の施工前**に行ってください。



注意

- ※サイドガラスは躯体と面接合するように取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
- ※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。
- ※サイドガラスのガラスは交換できません。

2 サイドガラスの設置・固定方法

- ① サイドガラスの設置前にガラス下部のコの字バーを保護している木材・下駄を取外します。
- ※サイドガラスの設置は**床仕上げ材(フローリング)の施工前**に行ってください。



※ガラス下部のコの字バーは縦枠より出っ張ってますので取扱いに注意してください。

縦補強材と下駄が
取付いて納品

中間補強材がついて納品

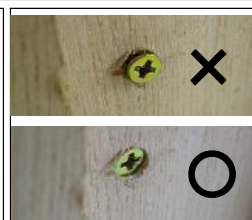
縦枠の下端が床仕上げ面
※ガラス下部のコの字バーは床仕上げ面より下に納まる

- ② サイドガラスの設置前に縦枠の下に床仕上げ材と同じ厚みのパッキン材(現場手配品)を仮置きし、サイドガラスを載せ、酢ビ系接着剤併用にて取り付けビス(現場手配品)で躯体に固定してください。(下穴が開いていませので、必ず下穴をあけてから取り付けてください)



下地裏面に接着剤全面塗布

縦枠の下に床仕上げ材と同厚のパッキンを仮置きし、サイドガラスをパッキン材の上に載せビスで固定



ビス固定の方法

注意

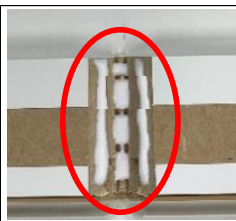
- ※サイドガラスの設置は床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。
- ※縦枠の下端が床仕上げ面となります(後から施工する床仕上げ材が差し込めるようにしてください)。
- ※サイドガラスを設置する際、パッキン材(仮置き)の上にガラス下部のコの字バーが載らないようにしてください(コの字バーが床仕上げ面より下に納まります)。
- ※サイドガラスの取り付けビスはガラスをまたいで2列、300mmピッチ程度で固定してください。

5 石膏ボード・幅木・塗り壁施工

- ① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。
(接着剤は酢ビ系をお勧めします)



接着剤全面塗布



Vカット部分も接着剤を塗布する

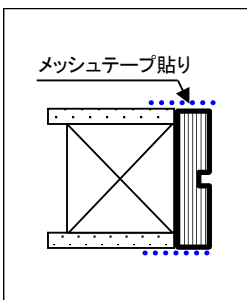


縦枠下端の幅木切欠き加工部
深さ4mm(塗り壁の場合)



シンプル幅木の取り付け

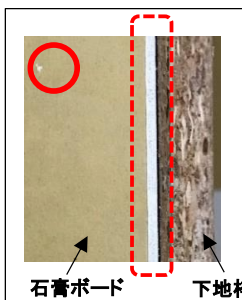
- ② ガラス・コの字バー・幅木に養生を行い、石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼り、パテ処理(2度塗りを推奨)をしてください。パテが乾燥後、下塗り材(アク止め入り)をムラなく塗り、1～2日乾燥させてください。その後、仕上げ材をムラなく塗り、3～4日乾燥させてください。
※縦枠に突き付ける石膏ボードは面を取り枠との間に隙間が出ないように取付けてください。



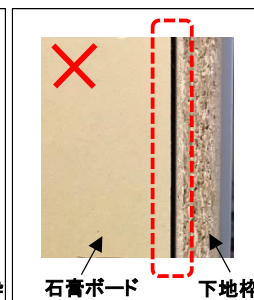
メッシュテープ



ビス部分にもパテ処理



石膏ボードを面取して枠との隙間を無くす



枠と石膏ボードの隙間が空いてしまっている

- 注意**
- ※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(塗り壁仕様の場合：高さ30mm×深さ4mm)。
 - ※縦枠下端の幅木切欠き加工を無しにできます。ご注文の際に別途ご指定ください。
 - ※塗り壁は、ガラス押え部分(アルミ調見切材)で見切ってください。但し、ガラス押えの出寸法が3mmのため塗り厚は3mm以下としてください。
 - ※漆喰の場合、アク止めは1回塗った後に十分乾燥させ、さらにもう1回塗って、1～2日乾燥させた後に上塗りを行ってください。
 - ※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな質無いうにしてください。

注 ガラスプロテクターについて

【カエサルサイドガラスの取注意】

- 工事中はガラスを傷つけないように養生をしてください。
- ガラスプロテクターは、お引渡し後も取付けたまま、お使いいただくことを推奨致します。



ガラスプロテクター

カエサルのサイドガラスは強化ガラスです。
ガラスエッジの保護材としてガラスプロテクターを取付けて納品してます。
ガラスプロテクターは取外し可能ですが、お引き渡し後も取付けたまま
お使いいただくことを推奨致します。